

古生物紹介 アノマロカリス(*Anomalocaris*)

古生代カンブリア紀に繁栄した海棲生物のグループで、アノマロカリスという名称は"奇妙なエビ"という意味です。最初はカナダにあるバージェス頁岩という地層で発見されました。大きさは一般に60cm、中には2mに達する種の化石も見つかっており、当時の生物としては最大で生態系の頂点に君臨していたと考えられています。

アノマロカリス



ナメクジウオ

ピカイア



生きた化石！？紹介

ナメクジウオ (*Branchiostoma belcheri*)

脊索動物門 頭索動物亜門 ナメクジウオ綱 ナメクジウオ目 ナメクジウオ科 ナメクジウオ属 に分類される、現生生物。体長は6cm程度。

脊椎動物の起源を考えるうえで重要とされており、有名なバージェス生物群の「ピカイア」と形態がよく似ている。

脊椎動物の神経胚期にみられる脊索(脊椎と置き換わって退化する)を、終生持ち続ける。目、耳、鼻などの感覚器は持たず、脳も未分化。しかし、光には敏感で、光受容体は確認されている。

メンバー紹介

山口洋介

大阪市立大学理学部地球学科1回生



一言:主に恐竜等の大型爬虫類等、中生代以前の古生物に興味を持っています。

何故そのような分岐を遂げたのか、何故そのような特徴を獲得するに至ったのか等、古生代からの進化の過程を研究してみたいと考えています。

最近某モンスターハンティングゲームに出てくるモンスターの骨格と実際の生物骨格の比較を楽しんでいます。